

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	膀胱移行上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	The pagetoid variant of bladder urothelial carcinoma in situ: a clinicopathological study of 11 cases	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ2-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Virchows Arch	
	雑誌 ID		
	巻	441	
	号		
	ページ	148-53	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2002	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Lopez-Beltran A	Department of Pathology, Cordoba University Medical School and Reina Sofia University Hospital
その他著者 1		Luque RJ	Princesa de España Hospital
その他著者 2		Moreno A	Infanta Margarita Hoapital
その他著者 3		Bollito E	Dpt. of Pathology, San Luigi Gonzaga Hospital
その他著者 4		Carmona E	筆頭演者に同じ
その他著者 5		Montironi R	Dpt. of Pathology, University of Ancona
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	pagetoid variant の膀胱移行上皮癌に対する免疫組織化学的検討	
	研究デザイン	症例集積研究	
	セッティング	Department of Urology, Reina Sofia University Hospital; Infanta Margarita Hospital; Department of Pathology, San Luigi Gonzaga Hospital	
	対象者	Pagetoid variant の上皮内膀胱移行上皮癌 11 例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
主な結果	Pagetoid variant の上皮内膀胱移行上皮癌 11 例での検討で、多くが CK7+/CK20+/thrombomodulin+であった。		
結論	外陰部原発パジェット病と pagetoid variant の上皮内膀胱移行上皮癌の鑑別にサイトケラチン 20 による免疫組織化学染色は有用である。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原隆宏	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (V) 解析対象が少数であり、免疫組織化学染色による鑑別の精度は評価不能である。	